全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集

審査対象　臨海副都心モデル撮影会

撮影日　2021年07月11日

審査日　2021年10月16日

審査員:増田賢一先生

金賞
「埠頭にて」
新井　潔 様
モデル　BUN

審査員:増田賢一先生 講評

段差を利用し、巨大なガントリークレーンを背景に抜き、ちょっと古い表現ですが「波止場のいかした女」風に狙って、他の作品からは一線を引いた雰囲気があり惹かれた作品です。他人とは違ったアングル、視点探しをしっかり為されている結果だと思います。構図的には常套手段からいえば上をカットしたいところですが、大きなクレーンの雄大さを印象づけるには、このくらい入っていた方がちょうどいいです。

銀賞
「ロックオン」
高橋　敏之 様
モデル　yuki

審査員:増田賢一先生 講評

金賞作品とは打って変わって、可愛らしい雰囲気に仕上がったナンバー1の作品。思いっきりローアングル＆望遠で狙う事で、このロケーションらしからぬファンタジックな雰囲気の仕上がりになってますね。光、顔の向きの選択など、かなり計算しながら撮影されてます。そしてなによりもモデルとのコミュニケーションが取れているのもポイント。可愛らしい表情に拍車を掛けてます。

銅賞
「戯れる」
小幡　大輔 様
モデル　夏山 りか

審査員:増田賢一先生 講評

奇しくも銀賞作品と似たようなシチュエーションですが、構図、動きの点ではこちらの作品の方が変化があっておもしろいです。ただ若干アングルを下げすぎた感があります。花に埋もれすぎているところ、前の花が近すぎてちょっとゴチャゴチャし過ぎてしまったところは残念ポイント。ウサギの耳になってしまった足は、可愛らしさもあってご愛敬ってところでしょうか。

入選
「裸足で」
石川　玲 様
モデル　髙畠祈莉

入選
「妖艶な美しさ」
横塚　英夫 様
モデル　BUN

入選
「想い」
佐藤　隆 様
モデル　BUN

入選
「Go for it!」
門間　正之 様
モデル　美羽希。

佳作
「素顔の彼女」
荒井　秀雄 様
モデル　彩乃美希

佳作
「TOKYO2020」
小野寺　基之 様
モデル　彩乃美希

佳作
「童心」
岸野　孝博 様
モデル　安桜 はるな

佳作
「桜子さんは目で勝つ」
斎藤　貴生 様
モデル　堀口桜子

佳作
「赤の想い」
滝本　憲一郎 様
モデル　BUN

佳作
「午後の光」
田沼　靖信 様
モデル　BUN

佳作
「狙う眼」
堤　博史 様
モデル　堀口桜子

佳作
「午後のひととき」
内藤　勝之 様
モデル　福田晴香

佳作
「眼差し」
中牟田　剛 様
モデル　美羽希。

佳作
「黒いObject」
湯原　章綱 様
モデル　夏山 りか

次点
「午後のひととき」
井原　亮祐 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「強い日差しの中で」
鵜飼　典彦 様
モデル　美羽希。

次点
「乙女の純情」
小倉　良二 様
モデル　BUN

次点
「眼差し」
河村　徳助 様
モデル　BUN

次点
「瞑想」
菅原　道久 様
モデル　BUN

次点
「長い髪の女」
豊田　光司 様
モデル　BUN

次点
「さり気なく」
中山　静男 様
モデル　美羽希。

次点
「ハワイアンスマイル」
北条　善久 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「風色の街」
三井　直人 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「睨みをきかす」
米沢　健二 様
モデル　BUN

＜全般講評＞

暑い中大変だったと思いますが、光に恵まれ、よく光を見ながら選びながら撮影されている作品が多かったです。以前と比べてミラーレス機のユーザーが増えたぶん、構図の面での制約がなくなったのか、バランスが考えられた、あるいは思い切った構図の作品も多くなったように思えます。その中で大きく差を感じるのがプリントのクオリティですね。設定ミスなどをしているプリントはだいぶ少なくなりましたが、色の出し方、階調の整え方などが悪くそれさえクリアしていれば上に行けるのにという作品もあるので注意してみてください。

増田賢一